

GXP1400/1405設定マニュアル

Ver2.1.4 2017/02/23 更新
Ver2.1.3 2016/09/06 更新
Ver2.1.2 2016/08/24 更新
Ver2.1.1 2016/06/09 更新
Ver2.1.0 2016/02/16 更新



はじめに

このたびはGXP1400をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をお読みにになり、お読みにになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。
弊社にて各機能を提供しております。お問い合わせは弊社にてお願いいたします。

※製造元へのお問い合わせはご遠慮ください。

最初に付属品 / 添付品が全て揃って入ることを確認して下さい。

- ・ GXP1400本体
- ・ 受話器
- ・ ACアダプタ
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ スタンド
- ・ お使いになる前に
- ・ 小スタンド×2

免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。
また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ DMP330は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書きをよくお読みください。

接続方法

1. 本体とスタンドを接続する
 2. イーサネットケーブルを本体後側の「LAN」とブロードバンドルーターに差し込む
 3. ACアダプタに取り付け、コンセントに差し込む
 4. カールコードを本体の「HANDSET」に差し込む
- ※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- ※ 必ずGXP1400本体後側の「LAN」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。本体後側の「PC」は、PC等接続しますと、GXP1400を通してネットワークに接続する事が可能です。

●GXP1400とは

GXP1400とは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。

LCDディスプレイ

様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。

ソフトキー

ソフトキーは、電話の状態に応じて変化します。ソフトボタンに割り当てられている代表的な機能は以下のとおり

- ・次画面
待ち受け画面、天気とIPアドレスが表示されます。切り替えるには、このボタンを押してください。
- ・全転送
無条件に、別の電話へ電話線を転送します。
- ・再発信
直前にかけた相手にかけ直す事ができます。相手が話し中や留守の時のかけ直しに便利です。
- ・不在着
このオプションは、この電話への非応答の通話を示します。表示された番号を選択し、受話器を取らずにリダイヤル/ハンドセットボタンを押すと発信することが出来ます。
- ・受ける/拒否
着信を受けるか、受けとらないかを選ぶことが出来ます。
- ・終了
コールを終了します。



キーパッド・ボタン

- ・HOLD:保留
通話中、相手に待ってもらう時に使用します。こちらの声や音は相手に聞こえません。
- ・TRANSFER:転送
電話機の機能として、転送をすることが出来ます。
※当サービスでの使用は推奨致しておりません。
- ・CONF:会議
電話機の機能として、今の通話に第三者を参加させることが出来ます。
※当サービスでの使用は推奨致しておりません。
- ・LINE1/LINE2
回線の切り替えボタンです。「LINE1」「LINE2」それぞれに回線を設定できます。

●ボタン名称

キーパッド・ボタン

	メニューボタン 電話機にセットされた設定が確認できます。上/下/左/右に移動する4つのナビゲーションキーを押してください。通話中に押していただくと、音量の調節が出来ます。電話が使用されていない場合に、キーパッド・コンフィギュレーション「MENU」モードを入力するために中心に円形のボタンを押してください。 あるいは、キーパッド・コンフィギュレーション中にいる場合ENTERキーとしてそれを使用してください。
	ボリュームキー 受話音量を7段階に調節します。
	ヘッドセット ヘッドセットを使用する際に利用します。
	消音 通話中に自分の音声相手が相手に届かなくなります。 また、発信履歴・着信履歴を消去します。
	スピーカー ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話出来ます。
	発信ボタン ハンドセットモードを有効/無効、または再ダイヤル/発信として使用出来ます。

● 設定方法

① GXP1400本体のIPアドレスを確認する。

ディスプレイ表示されている[次画面]の下にある、ソフトボタンを押す。二回ほど押すとIPアドレスが表示されます。

② webブラウザから、設定ページを開く。

GXP1400と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

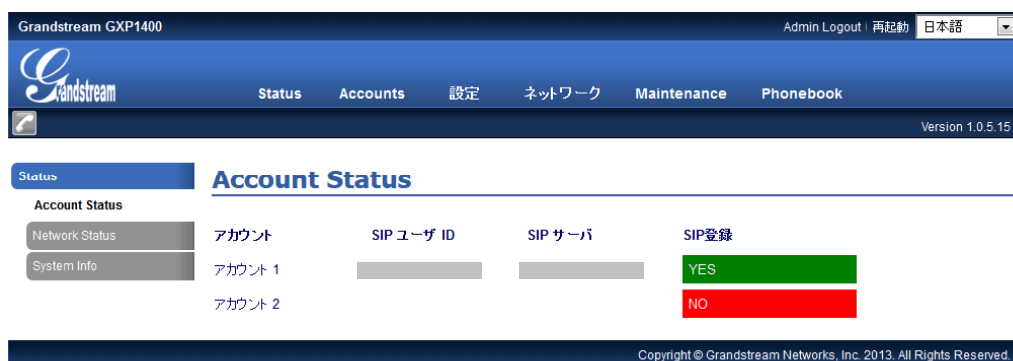
http://(IPアドレス)/ 例:192.168.001.00 の場合、<http://192.168.1.2/>



③ 上記画面が表示されますので、パスワードを入力し、Loginをクリックします。

※機器初期直後のパスワードは「admin」です。

セキュリティ確保のため、手順⑨にて必ず任意のパスワードに変更して下さい。



●設定方法

- ④ 画面上部「Accounts」タブの「アカウント1」をクリックします。
「General Setting」タブをクリックします。

SIPサーバ: & アウトバウンドプロキシ: ログインサーバを入力します。

※サーバーアドレスはお客様管理ページをご覧ください。

アカウント名: & SIPユーザID: & 認証ID: & 名前: ユニーク(10桁の数字)を入力します。

認証パスワード: 登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。

もし、管理ページにてユニークのパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

留守番電話ユーザID: 「999」を入力します。

入力が完了しましたら、「Save」のタブをクリックします。

「アカウント2」も「アカウント1」同様に設定してください。

※「アカウント2」に別のユニークを登録できます。

- ⑤ 画面左部「Accounts」タブの「Network Settings」をクリックします。

NATトラバース: Keep-Aliveを選択します。

入力が完了しましたら「Save」のタブをクリックします。

●設定方法

- ⑥ 画面上部「Accounts」タブの「アカウント1」をクリックします。
「SIP設定」>「セキュリティ設定」タブをクリックします。

Grandstream GXP1400

管理者 ログアウト | 再起動 日本語

Grandstream

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.6.7

アカウント

アカウント 1

一般設定

ネットワーク設定

SIP 設定

基本設定

拡張機能

セッション タイマー

セキュリティ設定

音声設定

通話設定

アカウント 2

セキュリティ設定

ドメイン証明書確認 ☒ NO ☐ YES

受信メッセージ有効化 ☒ NO ☐ YES

受信INVITEのSIP ユーザ IDを確認 ☐ NO ☒ YES

プロキシから受信する SIP のみを許可します ☒ NO ☐ YES

受信する INVITE を認証します ☒ NO ☐ YES

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

受信INVITEのSIPユーザIDを確認：「YES」を選択します。
端末に直接迷惑電話などが着信するのを防止します。
入力が完了しましたら「Save」のタブをクリックします。

● 設定方法

⑥ 画面左部「Accounts」タブの「Audio Settings」をクリックします。

Grandstream GXP1400 Admin Logout 再起動 日本語

Status Accounts 設定 ネットワーク Maintenance Phonebook Version 1.0.5.23

Accounts

アカウント 1

General Settings

Network Settings

SIP Settings

Audio Settings

Call Settings

アカウント 2

Audio Settings

DTMF 発信 ☐ in-audio ☒ RTP (RFC2833) を介する ☐ SIP INFO を介する

DTMF ペイロードタイプ 101

選択項 1 PCMU

選択項 2 PCMA

選択項 3 G.723.1

選択項 4 G.729A/B

選択項 5 G.722(wide band)

選択項 6 iLBC

選択項 7 G.726-32

Use First Matching Vocoder in 2000K SDP ☒ NO ☐ YES

SRTP モード NO

対称的 RTP ☒ NO ☐ YES

無音抑制 ☒ NO ☐ YES

TX ことの音声フレーム 2

G723 レート ☐ 6.3kbps エンコード レート ☒ 5.3kbps エンコード レート

G.726-32 Packing モード ☒ ITU ☐ IETF

iLBC フレーム サイズ ☐ 20ms ☒ 30ms

iLBC ペイロード タイプ 97

ジッター・バッファ タイプ 適応

ジッター・バッファ 長 300ms

Save Save and Apply リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2015. All Rights Reserved.

DTMF 発信: RFC2833 のみを選択する

※ユニーク管理ページでDTMF送信方法をDTMF Inbandに設定された場合は「in-audio」を選択してください。

入力が完了したら「Save」のタブをクリックします。

●設定方法

⑦ 画面上部「設定」タブの「コール機能」をクリックします。

Grandstream GXP1400 Admin Logout | 再起動 日本語

Status Accounts 設定 ネットワーク Maintenance Phonebook

Version 1.0.5.15

設定

General Settings

コール機能

着信音

Audio Control

LCD Display

Date and Time

Web Service

XML Applications

Programmable Keys

コール機能

Offhook自動ダイヤル

Offhookタイムアウト 30

通話中着信無効化 ☐ NO ☒ YES

通話中着信音無効化 ☒ NO ☐ YES

IPアドレスダイヤル無効化 ☒ NO ☐ YES

クイック IP-call モードを使用 ☒ NO ☐ YES

電話会議無効化 ☒ NO ☐ YES

in-call DTMF表示無効化 ☒ NO ☐ YES

MPKによるDTMF送信有効化 ☒ NO ☐ YES

Disable DND Button ☒ NO ☐ YES

転送無効化 ☒ NO ☐ YES

転送キーを押す際に発信される In-callダイヤル番号

Auto-Attended Transfer ☒ NO ☐ YES

SIP URI中の'#'を%23に置換しない ☒ NO ☐ YES

Click-To-Dial Feature ☒ 無効化 ☐ 有効化

通話履歴をフラッシュメモリへの書き込み 0 means this option is disabled

書き込みタイムアウト 300

最大未保存ログ 200

Save Save and Apply リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2013. All Rights Reserved.

※「通話中着信無効化」

NO: 通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に呼び出しを通知します。

YES: 通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に話中を通知します。

※YESを選択するとキャッチ無しになります、キャッチありにしたい時はNOを選択。

※「通話中着信音無効化」(通話中着信無効化がNOの場合のみ有効)

NO: キャッチ入電時に音で通知します。

YES: キャッチ入電時に音での通知無しとします。

●設定方法

⑧「Accounts」タブの「SIP設定」→「基本設定」をクリックします。

ローカルSIPポートに50000～60000のいずれかの数字を入力します。

※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当てて下さい。

例: 端末Aには50000、端末Bには50001

Grandstream GXP1400 Admin Logout 再起動 日本語

Status Accounts 設定 ネットワーク Maintenance Phonebook

Version 1.0.5.15

アカウント

- アカウント 1
- 一般設定
- ネットワーク設定
- SIP 設定
- 基本設定
- 拡張機能
- セッションタイマー
- セキュリティ設定
- 音声設定
- 通話設定
- アカウント 2

基本設定

TEL URI	☒ 無効化 ☐ User=phone ☐ 有効化
SIP登録	☐ NO ☒ YES
再起動時に登録を取り消す	☒ NO ☐ YES
登録期限	60
期限切れする前に再登録	0
Enable OPTIONS Keep Alive	☒ NO ☐ YES
OPTIONS Keep Alive Interval	30
OPTIONS Keep Alive Max Lost	3
ローカルSIPポート	50000~60000
SIP登録失敗再試行待ち時間	20
SIP T1 タイムアウト	0.5 秒
SIP T2 タイムアウト	4 秒
SIP転送	☒ UDP ☐ TCP ☐ TLS/TCP
TLS使用する際のSIP URI スキーム	☐ SIP ☒ sips
TCP/TLSのContactに実際エフェメラルポートを使用	☒ NO ☐ YES
ルートからOBPを削除	☒ NO ☐ YES
SIP Instance IDサポート	☐ NO ☒ YES
SUBSCRIBE for MWI	☒ NO ☐ YES
登録の SUBSCRIBE	☒ NO ☐ YES
100rel有効化	☒ NO ☐ YES
Caller ID表示	☒ Auto ☐ 無効化 ☐ From ヘッダー
Privacyヘッダを使用	☒ デフォルト ☐ NO ☐ YES
P-Preferred-Identityヘッダを使用	☒ デフォルト ☐ NO ☐ YES
Ignore Alert-Info header	☒ NO ☐ YES

保存 保存して適用 リセット

● 設定方法

- ⑨ 画面左部「設定」タブの「Date and Time」をクリックします。

Grandstream GXP1400 Admin Logout | 再起動 | 日本語

Status Accounts 設定 ネットワーク Maintenance Phonebook

Version 1.0.5.15

設定

General Settings
コール機能
着信音
Audio Control
LCD Display
Date and Time
Web Service
XML Applications
Programmable Keys

Date and Time

NTP サーバ: ntp.jst.mfeed.ad.jp

Allow DHCP Option 42 to override NTP server: ☐ NO ☒ YES

タイムゾーン: GMT+09:00 (日本, 韓国, ヤクーツク)

☒ Allow DHCP Option 2 to Override Time Zone Setting

ユーザ定義タイムゾーン: MTZ+6MDT+5,M4.1.0,M

時刻表示フォーマット: yyyy-mm-dd

時間表示フォーマット: ☒ 12時間表示 ☐ 24時間表示

Save Save and Apply リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2013. All Rights Reserved.

NTPサーバ:「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。
タイムゾーン: GMT+09:00 (日本、韓国、ヤクーツク) を選択します。
入力が完了しましたら「Save」のタブをクリックします。

- ⑩ 画面左部「設定」タブの「Date and Time」をクリックします。

Grandstream GXP1400 Admin Logout | 再起動 | 日本語

Status Accounts 設定 ネットワーク Maintenance Phonebook

Version 1.0.5.23

Maintenance

Web Access
Upgrade and Provisioning
Syslog
Language
TR-069
Security

Web Access

Telnet無効化: ☒ NO ☐ YES

User Password

New Password

Confirm Password

Admin Password

New Password:

Confirm Password:

Save Save and Apply リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2014. All Rights Reserved.

Admin Password:「任意のパスワード」を入力します。
※設定ページにログインする際のパスワードになります。機器を初期化した直後の初期パスワードは全機器共通になりますので
セキュリティ確保のためお客様にて推測されにくいパスワードを設定して下さい。
弊社にて設定出荷した機器のデフォルトパスワードは機器に同梱いたしております。

入力が完了しましたら「Save」のタブをクリックします。

●設定方法

⑪ 画面上部「Maintenance」タブの「Upgrade and Provisioning」をクリックします。

Grandstream GXP1400 Admin Logout | 再起動 日本語

Status Accounts 設定 ネットワーク Maintenance Phonebook

Version 1.0.5.15

Maintenance

Web/Telnet Access

Upgrade and Provisioning

Syslog

Language

TR-069

Security

Upgrade and Provisioning

フレームウェア更新と
プロビジョニング

- ☐ 新しいフレームウェアを常に確認
- ☐ 接頭/接尾文字異なる場合のみ新しいフレームウェアを確認
- ☒ 常にフレームウェア確認をスキップする

XML設定ファイルパスワード

HTTP/HTTPSユーザ名

HTTP/HTTPSパスワード

以下を介して更新 ☐ TFTP ☒ HTTP ☐ HTTPS

フレームウェアサーバパス firmware.grandstream.

設定サーバパス firmware.grandstream.

フレームウェアファイル接頭文字

フレームウェアファイル接尾文字

設定ファイル接頭文字

設定ファイル接尾文字

DHCP オプション43とオプション66によるサーバ設定を許可 ☐ NO ☒ YES

DHCP オプション120によるSIPサーバ設定を許可 ☒ NO ☐ YES

自動アップグレード ☒ NO ☐ はい、毎 1008 分

☐ Yes, check for upgrade every day

☐ Yes, check for upgrade every week

チェックする時刻(0-23) 1

チェックする曜日(0-6) 1

認証設定ファイル ☒ NO ☐ YES

Save Save and Apply リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2013. All Rights Reserved.

フレームウェア更新とプロビジョニング:「常にフレームウェア確認をスキップする」を選択します。

※「常にフレームウェア確認をスキップする」を選択するとフレームウェアが更新されません。
フレームウェアを更新したい場合、[⑫フレームウェアバージョンアップ方法を参照](#)下さい。

入力が完了しましたら「Save」のタブをクリックします。

● 設定方法

⑫ 画面左部「Maintenance」タブの「Language」をクリックします。

表示言語:「Auto」を選択します。

入力が完了したら「Save and Apply」のタブをクリックします。

すべての設定を行った後「再起動」をクリックします。本体が再起動し、設定が有効になります。

● 設定方法

⑬ ファームウェアのバージョンアップ方法(任意)

MaintenanceタブからUpgrade and Provisioningをクリックします。

フレームウェア更新とプロビジョニング:「新しいファームウェアを常に確認」を選択します。

以下を介して更新:「HTTP」を選択します。

ファームウェアサーバパス:「firmware.grandstream.com」を入力します。

自動アップグレード:「はい、毎分」を選択し、入力欄に「10080」と入力します。

入力が終わりましたら最下部の「保存して適用」をクリックして再起動して下さい。

※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。
アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。
初期化方法は当マニュアルに記載されていますのでそちらをご確認下さい。

●安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



煙が出たり、変なにおいがするときはバッテリー抜く
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となります。



開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない
万一、入った時はバッテリーを外して販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



内部に水や異物を入れない
水や異物を入ると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、バッテリーを外して、ご連絡してください。



故障や異常状態のまま使用しない
火災・感電の原因となります。



雷が発生したときは、本機に触れない
感電の原因となります。



風呂やシャワー室では使用しない
火災・感電・故障の原因となります。



本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。



水などで濡らさない
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時はバッテリーを外して販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

●安全にお使いいただくために



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。



直射日光の当たるところに置かない
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



湿気やほこりの多いところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。



極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない
故障の原因となることがあります。



不安定な場所や振動の多いところに置かない
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。



受話口に吸着物がいないか確認してから使う
受話口の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

●故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。
それでも具合の悪いときは、弊社へお問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	機器の電源を落としバッテリーを外して下さい。10秒ほど置いてから再度バッテリーを装着し電源を投入し動作をご確認下さい。 上記を行っていただいても改善されない場合は弊社までご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	ネットワークに接続されてない状態になっていませんか。	Wi-Fiネットワークに接続して下さい。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻して下さい。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●安全にお使いいただくために

●初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。

初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体で[●]ボタンを押す。
2. ボタン[▲][▼]を使い↑↓を数回押し、「設定」をハイライトさせて、[●]を押す
3. ボタン[▲][▼]を使い↑↓を数回押し、「工場出荷設定に戻す」をハイライトさせて、[●]決定します。
4. 液晶画面下の「保存」ボタンを押す。
5. もう一度、液晶画面下の「保存」ボタンを押す。
6. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。